

京都大学経済学部同窓会



NO. 26

Kyoto University
Faculty of Economics Alumni Association
2023



令和5年京都大学経済学同窓会 総会



ホテルグランヴィア京都 ※写真はイメージです

日時

令和5年 10月28日(土) 14時～18時

- * 講演会 14時00分～15時00分 (受付13時30分～)
- * 総会 15時00分～15時30分 (15時30分～ 集合写真を撮影します)
- * 懇親会 16時00分～18時00分



会場

ホテルグランヴィア京都 ☎075-344-8888

〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR京都駅中央口 (京都駅ビル内)

講演



講師
京都大学大学院経済学研究科・経済学部 教授 文世一氏

「公共交通の経済分析」

人口減少と自動車依存の進行により、鉄道、バスなどの公共交通の持続可能性が問題となっている。

講演では、公共交通のあり方について考察するとともに、MaaSのような新しい公共交通システムにおける課題について解説する。

懇親会

懇親会費 5,000円 (着席ビュッフェスタイル)
学生会員・同伴者 3,000円 当日、受付にてお納めください

総会出席者のご確認

☆ご出席の方へは**総会約1週間前**に確認のお電話をしております。
出席のお返事を出されたにも関わらず電話がない場合は、郵便事故の可能性もありますので、恐れ入りますが当日の5日前までには事務局までお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

出欠回答の締切日

10月13日(金)

までにご返信願います。

※万一締切を過ぎた場合でも参加希望の方は事務局にご相談ください。

参加された方には
同窓会オリジナルグッズを
差し上げます

メールアドレス登録・ オンライン経済懇話会ご案内

今年度より、同窓会のサービス向上を目的に全国の経済学部同窓会会員の皆様に対して、本学の教員が講師を務める「オンライン経済懇話会」を開始します。



当面の予定

2023年11月18日(土)

依田 高典 先生

京都大学経済学研究科 研究科長

演題

ココロの経済学

—行動経済学から読み解く人間のふしぎ—

2024年7月13日(土)

岡 敏弘 先生

京都大学経済学研究科 教授

演題

炭素生産性の解明（仮題）

参加資格

◆メールアドレスを登録済の方

◆過去3年間に一度でも年会費をお支払いになられた「会員」の方



メールアドレス登録
のQRコード

メールアドレスの登録がまだの皆様は、この機会に是非ご登録ください。
左記の QR コードからメールアドレスの新規登録（または変更）の手続きをお願いします。

参加資格のある「会員」の皆様には、開催日の 1ヶ月前までに「オンライン経済懇話会」のご案内（Zoom 用 URL）をメールにてお送りします。

メールが届いていない場合は事務局までご連絡ください。

自動返信メールが届いて「登録完了」となりますので、登録されたメールを必ずご確認ください。

※上記 Google フォームからうまく登録ができない方は、下記のメールアドレス宛に、
ご氏名（フリガナ）・卒年・ご連絡先をご記入の上、メールにて送信してください。

連絡先：京都大学経済学部同窓会

Tel：075-753-3419

（月・火・木・金 10時～16時※12:00～13:00を除く／水・土日祝 休）

E-mail: dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

京都大学経済学研究科・ 経済学部への取組

京都大学経済学研究科長・経済学部長

依田 高典

私は2021年度から2022年度まで経済学研究科長・経済学部長を拝命し、2023年度は1年間の再任をされています。この間の経済学研究科・経済学部の取組を入学試験・カリキュラム改革・産学連携・国際研究力強化の4点から説明します。

第一に、入学試験の取組です。現在、経済学部では、一般文系（180名）・一般理系（25名）・特色文系（15名）・特色理系（10名）・外国学校出身（10名）という多様性のある選抜を実施しています。入学試験の難易度は、東大文・文二・京大法と並んで、最難関を維持しています。今後の課題としては、現在は35名に留まる理系人材と2割程度に留まる女子学生の増大が挙げられます。

第二に、カリキュラム改革の取組です。現在、経済学研究科・経済学部では、経済学を主専攻、データ科学を副専攻として、文理融合教育に努めています。現在は、2回生時に第二外国語の代わりにデータ科学科目を選択できるデータ科学選択制度を導入していますが、2025年度からは第二外国語の代わりにデータ科学科目を必修化します。他方で、外国学校出身者ほか向けに、語学力を重視したグローバル人材育成プログラムを設置します。また、3回生前期時点で、上位2割を在学時成績優秀者として認定し、希望者には大学院生科目の履修を認め、5年間一貫で学士・修士を併修できるプログラムを設置し、毎年10名程度の学生が挑戦しています。

第三に、産学連携の取組です。現在、経済学部では、5つのスポンサー企業から寄附講義を設置して頂き、就職活動の始まる2回生から、実務的な

知識に触れる機会を提供し、同窓会特別学生会員向けのセミナーにもご協力を頂いています。

第四に、国際研究力強化の取組です。京都大学は、国際卓越研究大学プログラムに申請をしていますが、TOP10%の高被引用論文が重視されるので、全教員・全論文の出版数・被引用数を見える化し互いに切磋琢磨しています。最も優れた研究力のあった研究員には、特別研究教員の称号を付与し、研究専念の待遇を与えています。大学院生に対しては、民間寄付金を用いて、全ての博士後期大学院生が何らかの生活支援を受けられる制度を始めました。最後に、高田保馬記念講演を設置し、国際的に優れた研究者を招聘し、研究報告を頂く機会を増やしていきます。

以上が、私が部局長として取組んでき

京都大学経済学研究科・経済学部の取組について

2023.4.24 京都大学経済学研究科長・経済学部長 依田高典

入学試験の取組

- ・一般文系180名・一般理系25名・特色25名（文系15・理系10名）・外国学校10名。
- ・入試偏差値は文系最難関を維持（東大文1・文2・京大法・経、河合塾偏差値67.5）。
- ・今後の課題として、一般理系を増やすこと、女子学生を増やすこと。

カリキュラム改革の取組

- ・データサイエンス教育の徹底強化。2025年度から必修化。専門課程で副専攻化。
- ・第二外国語必修を廃止。卓越した語学力を重視したグローバル人材プログラムの設置。
- ・成績上位20%を在学時に表彰。学部・大学院5年一貫短修制度の拡充。
- ・情報学研究科と協力をして、大学院博士課程向け共同指導体制の設置。

産学連携の取組

- ・寄附講義を5スポンサー設置。2回生から受講可能。セミナー・インターンと密に連動。
- ・同窓会学生特別会員向けセミナーの開始（3回生向けセミナー、1/2回生向けセミナー）。
- ・今年度秋に同窓会主催で就活情報提供共同セミナー実施予定。

国際研究力強化の取組

- ・国際卓越研究大学へ申請。高被引用Top10%論文を重視。全教員全論文の見える化。
- ・研究専念可能な特別研究教員制度の設置。第一号は中林純教授。
- ・大学院博士院生の有資格者の授業料免除・生活支援。
- ・高田保馬記念講演の設置。世界の優れた学者との交流促進の機会設置。

た主な事項です。しかしながら、海外のトップ校の背中には依然として遠く、我々の努力は未だに及びません。今後とも来し方百年の良き伝統は守りつつも、行く先百年では改革を怖れずに進んでいきます。どうか同窓会の皆さまにおかれましては、私たちの取組を温かくお見守り下さい。

● 名誉教授 近況報告

種子争奪戦が 本格化する気配

京都大学名誉教授
本山 美彦



世界中でヘンリー・キッシンジャー (Henry Kissinger、1923年-) の名言として流布されている言葉がある。ただし、本人がこのような発言をしたという根拠はない。

「食糧供給を支配する者は人々を支配する。エネルギーを支配する者は全大陸を支配できる。貨幣を支配するものは世界を支配できる」。

確かに名言である。しかし、典拠がまったく示されずに、この種の言葉が著名人によって発せられたとする無責任なSNSへの書き込みを、無批判に引用してしまつ評論家が多い。

それにしても、この言葉は、今日のウクライナ問題にぴったりに符合する。今後、世界の国々が、食料とエネルギーの獲得競争に乗り出すことは必至である。その競争に則つて、欧米の金融資本は、自国の軍需産業とともに、莫大な利益をむさぼるようになるだろう。

2020年の「ピューリッツァー」賞受賞者のクリストファー・ムーニー (Christopher Mooney、1977年-) が『ワシントン・ポスト』紙に投稿した「種子バンク」に関する論文は、将来起こり得る種子争奪戦を予測したものである。

投稿論文のタイトルは、「なぜ世界は『世界終末日』に備えた地下シェルターに非常に多くの種子を保管しているのか」という長いものである。

ドイツに拠点を置く国際的なグループである「クロップ・トラスト」 (Crop Trust) という財団がある。この財団が、2004年以来、世界中のいわゆる「遺伝子バンク」 (gene banks) と接触し、資金や研究器具を提供したり、各種アドバイスをしたりして、世界中から多様な種子の遺伝子を蒐集してきた。クロップ・トラストによると、86万種以上の種子が、北極圏の「スヴァールバル島」の氷で閉ざされた地下シェルターに貯蔵されているという。

多様な種子を大量に保管しておく目的は、現在の人々の食料が不足した時に放出するという対症療法的なものではなく、新しい食品を作るために必要な遺伝情報を保存して、世界戦争とか深刻な気候変動、人口爆発等々によって、世界が終末の危機に直面したときに、激変した環境の下でも生育できる新品種の食料を創り出すための研究用に使つたためであると説明されている。

このプロジェクトには、2004年の開設以来、5億ドルもの寄付金が寄せられたという。

寄付金は、米、英、独、インド、エチオピアなどの政府や「ビル&メリンダ・ゲイツ財団」などの幅広い層から提供され

ている。

確かに、この種の研究は重要である。しかし、それには不可欠の前提がある。

極北の極寒の氷室の中に、世界の種子を貯蔵することには、世界市民が共同で研究し続けるということが前提とされなければならない。

しかし、この前提に疑問符が付く事件が2015年9月に生じた。シリアのアレッポに拠点を置く「国際乾燥地域農業研究センター」 (ICRAT) というセンターがある。このセンターは、集めた種子をスヴァールバルに預けていた。ところが、シリア内戦が激化したために、同センターは、ベイルートに避難した。その際、アレッポに保管していた種子を持ち出す余裕はなかった。ベイルートで研究を再開するために、同センターは、スヴァールバルに預けていた種子の引き出しをクロップ・トラストに願ひ出た。クロップ・トラストとしては初めてのことであるが、その引き出し要求に応じた。

このことは、種子の国際的協同保管という大義が、いずれ崩れるだろうことを予感させるものである。戦乱や食糧危機が世界中に蔓延することになれば、有力国は競つて種子を自国に取り込もうとするようになるだろう。クロップ・トラストは「世界の終末に備えて」という殺し文句で、世界の研究所の賛意をいまのところ得てはいるが、いずれ世界はバラバラに動く可能性がある。事実、ロシアの侵攻を受けたウクライナの種子バンクは大きな被害を受けた。

自国の種子の研究に関する機密情報が国際的資本に漏洩した一つの事例を示そう。

「国際稲研究所」 (IRRI) というアジアで最古かつ最大の稲の種子研究所がある。フィリピンのロスバニョスに本拠を置き、アジアとアフリカの14か国に出先機関を持つ著名な研究所である。この研究所は、1960年に、フォード財団とロックフェラー財団からの出資を得て、フィリピン政府によって設立された。この元だが、同じく国際的に著名であったインドのオリッサ州カタクにある「中央稲研究所」 (CRRI) を解体して、この研究成果を秘密裏に得て、あの「緑の革命」を実現させたのである。中心的に動いたのは、「インディラ・ガンジー農業大学」 (ICAR) であった。この大学は、多国籍アグリビジネス企業であるシンジェンタと提携していた。

本稿は、今年の1月17日に上梓した拙著『「協同労働」が拓く社会—サステナブルな平和を目指して—』(文眞堂) から引用したものである。典拠はこの本で見てください。

写真で遊ぶ

昭和46年卒 多田 和雄



昨年10月に昭和46年卒業生の卒業50周年記念同窓会が開催されてカメラマンを担当致しました。そのご縁で本欄に書かせていただきます。

【写真の経歴】

「趣味は写真です」と言うようになって30年になります。もともとは家族写真程度でしたが中判カメラを使いだしてから深みにはまりました。ブローニーという紙巻きのフィルムで1枚が6cm×7cmです。中判カメラの中でも特にマニアックな蛇腹式のカメラでした。三脚が必須、ルーペをのぞいてピント合わせ、露出計で測って絞り・シャッタースピード設定、などすべて手動で、1枚写すのに最低10分、通常は1カ所30分くらい時間がかかりました。

2000年代に入るとデジタルカメラの性能が上がりました。一千万画素は35mmフィルムと同等で、二千万画素になると中判フィルムと同等になったのでデジタルカメラに乗り換えしました。今は四千五百万画素のカメラを使っています。

【デジタル修整】

デジタルカメラは簡便で色々メリットがあり、私が活用するのは修整可能な点です。「レタッチ・修正・補筆」、「オマージュ・引用・真似る」などの言葉を使いますが、要は歪曲・捏

造です。

フィルムカメラでは風景写真の撮影時に最も良い場所を選んで、手前に電柱・電線・看板などがあれば位置を変えなくてはなりません。

修整可能なら、最適な場所で撮影して後で邪魔物を消せばOKです。

写真とは真実を写すと書きます。警察の鑑識課が殺人事件の現場撮影するには問題ですが、洒落で遊んでいるので歪曲・捏造も趣味のうちと考えています。

撮影は一瞬でもパソコンでの修整加工はネチネチとこねくり回して2日も3日も遊べます。金のかからない暇つぶしです。↑これが最大の利点

【写す対象】

写す対象は、富士山、桜、紅葉、などの風景写真です。

●新幹線試験車ドクターイエロー(7画)。「ドクターイエローを見ると幸福になれる」という都市伝説があります。運行予定日の裏情報がないターネットに掲載されていて、有名な撮影スポットには撮り鉄マニアが多数います。

●ダイヤモンド富士(富士山頂に日没)。太陽は冬至から夏至にかけて移動し、富士山を基点にして撮影位置が毎日移動します。インターネットに本日の撮影場所が掲示されて、ヒ

マなジギーが集まります。

●パール富士(富士山頂から月の出)。ダイヤモンド富士は晴れた日には毎日撮れますが、パール富士は大変です。月の出は毎日50分ずれていきます。昼間は明るすぎて月が写らず、夜中は暗すぎて富士が写りません。月と富士山の両方が写るのは日没頃の薄暗い時間帯で、満月前後の2〜3日に限られます。

●信任状捧呈(ほうてい)式。新任の外国大使は母国からの信任状を天皇陛下に捧呈します。この時、東京駅貴賓室から皇居まで馬車で送迎します。東京駅のレンガと馬車が中世の西洋の城のようです。

【写真コンテスト】

写真コンテストで選ばれるのは「過去に類の無い、新機軸」のもので、私が好む「まるで絵葉書のような写真」は入選しません。

各種のコンテストの中で「修整を問わない」コンテストに2回入選しました。

①栃木県小山(おやま市)、田んぼアートフォトコンテスト

賞物券5千円

②港区フォトコンテスト

賞物券7千円+

はとバス優待券4千円

【古いフィルム】

長年撮影してきたフィルムが大量にたまっていたので、終活のため約半年かけてデジタル化して殆ど廃棄しました。せっかくデジタル化したので古い写真をネチネチと修整して失敗写真を救済しました。

【最近マンホールを】

コロナのため遠出ができず近隣のデザインマンホールを撮っています。各地の市役所の下水道課は地味なマンホールに興味を持ってもらおうと、地元ゆかりの人物やアニメのキャラクターをマンホールにしています。汚れやキズをネチネチと修整しています。

「趣味はマンホールの掃除です」の今日この頃です。

写真作例は同窓会ホームページの会報欄をご覧ください。



原画



修整後

卒業50周年記念同窓会

今から振り返れば、悲喜交々・いろいろな「こと」があり過ぎたといえ、私達、記念同窓会の幹事会は、2019年6月7日経済学部・同窓会・田中彰教授・常務理事と同・事務局・田村利恵さんとの打合わせから始まり、2023年1月30日のメンバーへの同窓会の写真・印刷物の郵送完了まで、4年続いたこととなります。この間、在京幹事5人とはリモートで、在阪・在洛幹事7人とはどんな時も京大・同窓会室に必ず集まっていたので、時には始めから飲み会のような雰囲気の中で進み、議事は次々と合意されていきました。わずかな賢人がいたおかげでしょうか。標記 記念同窓会は、2022年10月27日（木）13時～15時30分、京大・本部時計台記念館・国際ホールにて開催され、定刻前には出席者42人はゼミ毎に6～8人の単位で、各テーブルに分かれて着席。

ご来賓の、依田高典経済学部長、諸富徹教授・同窓会常務理事、山田浩之名誉教授、池上惇名誉教授、田村利恵さん・同窓会事務局が着席されて、29人の同窓物故者への黙禱で開会となりました。次いで、依田学部長のご祝辞、諸富教授の同窓会報

告の後、山田名誉教授が乾杯のご発声されました。90才の山田先生は、一週間前に高熱で緊急入院、一昨日に退院されての乾杯で、更に、この日も最後まで談笑された後、8人の本日出席の山田ゼミOBと早々に会場を跡にされて、次へ行かれたようです。気力・体力・執念には改めて驚きました。

また、司会の渡辺徹志君の軽妙な進行で、3分間スピーチもかなり進んだ頃に、89才の恩師池上惇先生が指名されますと、自らお立ちになり、前方へ進まれ、がっしりと両手でマイクを握りしめて、張りのある大きな声で「皆さんは、まだまだ若い……！もっともっと勉強するように……！」と激が飛び、驚くやら、感動するやら、大いに会場は盛り上がりしました。終盤に「琵琶湖周航の歌」の斉唱となり、50年の過ぎし時日を回想し且つ青春時代を呼び起こす締めとなりました。予定通り、15時30分集合写真を撮り終えて再会を誓いながら京大時計台記念館を跡にしました。

当日の出席者47人、近況報告を寄稿するも出席できなかった120人、本人またはご家族の体調不良で参加できなかった10人余り、などへ

配布するための写真の現像・焼増し550枚、近況報告集の増刷170冊、郵送のためのレターパックライト、スマートレター120枚購入など、思わぬ、時間と費用を要しましたが、2023年1月30日にすべての作業・収支を終えることができました。幹事一同深謝申し上げます。

追伸 幹事の中でも、チャーターメンバーとして、2019年10月5日の大阪市内の大阪倶楽部での在阪・在洛幹事に初めてご出席されました後、すべての幹事会にご出席されました、岡本博公君が2021年10月18日に突然ご逝去されました。

同窓生一同、心より御礼申し上げますと共に哀悼の意を表します。

（文責 田尻和夫・八木長三郎・出田善感）



卒業50周年記念同窓会



コロナのため、1年遅れとなった記念同窓会ですが、従来の5月ではなく10月20日に、百周年時計台記念館で実施しました。ご来賓として、依田学部長、池上先生、野村先生、野澤先生、同窓会から諸富先生、事務局の田村さんのご出席を得ましたが、山田先生と瀬地山先生は体調不良のため欠席でした。ご出席頂いたゼミの先生方には初めからゼミ席にお座り頂き、久し振りの身近な再会を楽しんで頂きました。全国から52名の同期が集まりましたが、ドタキャンは無しでした。同期代表挨拶の後、学部長から御挨拶を頂き、37名の物故者に黙祷を行ない、上田勉

さんの司会で始まりました。振り返れば、我々の学生時代は学園紛争の真っ只中で、支部総会等で同期と会っても、初めましてというケースが多かったと思います。従って、一番力を入れたのは名簿集めです。電話や郵便では捗らないと思い、メールで連絡することにして、先ずメールアドレス集めに没頭しました。会ったこともなく、名前も知らなかった同期とメル友になりました。物故者を除き有資格者227名の内、153名のアドレスを取得し、34名はハガキで対応し、行方不明は40名でした。東京・大阪で約10名ずつの幹事の皆さんと1度だけリアルの幹事会を行ない、後はコロナの陰で普及したズーム会議で全体幹事会を6回行いました。初回は自己紹介から始まりました。一番苦労したのは食事です。コロナ前は生協のケータリングを利用していたものが、生協はそれを止めたそうで、コロナ後としては、京都風弁当が良いと思いました。ラ・トゥールは無理とのこと、百万遍のレストランを探しまくって、皆断られ途方に暮れて、近衛通りの芝蘭会館に行くと、営業譲渡を受けた(株)ステップが開店パーティーをしていました。責任者



に話をすると、「サービスしますよ」と、大乗り気でした。食事は川原徹郎、江崎芳雄両氏に担当して頂きましたが、諸方調べた結果ステップに決まりました。ドリンクコー

卒業50周年記念同窓会 ＜京都大学経済学部1971年(S46年)卒業＞



2022年10月20日(木)
於：京都大学百周年時計台記念館

ナーも設けて、大変盛り上がったと思います。尾崎安彦さんに卒業アルバムをスクリーンで映し出してもらい、学生時代を振り返りました。カメラマンは多田和雄さんをお願いしましたが、二百枚を超える枚数でいつ食事をしたかと思えます。最後は岡本達雄さんに締めくくってもらいましたが、有意義な記念日となりました。

(文責 武田健作)

卒業50周年記念同窓会

「来年は君達、昭和37年卒業生の卒業50周年記念同窓会を開催する年なので準備するように」とのメールが来たのは令和3年の秋でした。

逡巡していてもしかたないので声を掛け合い5名の幹事団を結成し、過去の実施状況などをチェックしたものの、昭和45年、46年卒業の先輩方の同窓会もコロナの影響で延び延びになっている中で今年は本当に開催できるのか、開催してもコロナ禍の中で出席してくれるのか、さらに私達の学生時代は学園紛争の影響で通常の授業が行われず、机を並べて学ぶ機会が少なかったため、その分同期生としての絆を深めることが難しい状況にあったので、同窓会を開



催するといってもどれほど共感を得られるのか等、心配は尽きませんでした。

年明けより幹事間のメールや同窓会事務局の場所を借りての幹事会の開催により、開催日時や場所を決め、4月には案内状を作成、発送に漕ぎつきました。案内の対象は昭和42年以前入学で47年卒業の方、昭和43年入学で47年、48年卒業の方の内、逝去が確認できている方と住所不明の方を除く約180名。1か月後の集約では、出席32名、欠席51名、大半は返信がありませんでした。

夏を過ぎる頃にはコロナ禍は小康状態になり、開催が可能と一応の判断をした上で最終案内を発送し当日を迎えることにしました。

開催日時は11月15日。場所は百周年時計台記念館国際交流ホール。卒業生の最終出席は27名。卒業生より、湊総長、依田経済学部長、草野同窓会常務理事代理、池上惇名誉教授のご臨席を賜り式典開催。

総長、学部長からご挨拶をいただいた後、学園紛争のため卒業式のないまま卒業した私達のため、湊総長より代表者に50年ぶりに卒業証書

（正式には「合格証書」）を授与していただきました。その後16時までパーティー。記念写真を撮り散会。二次会は「がんこ二条苑」12名が参加し名残を惜しましました。

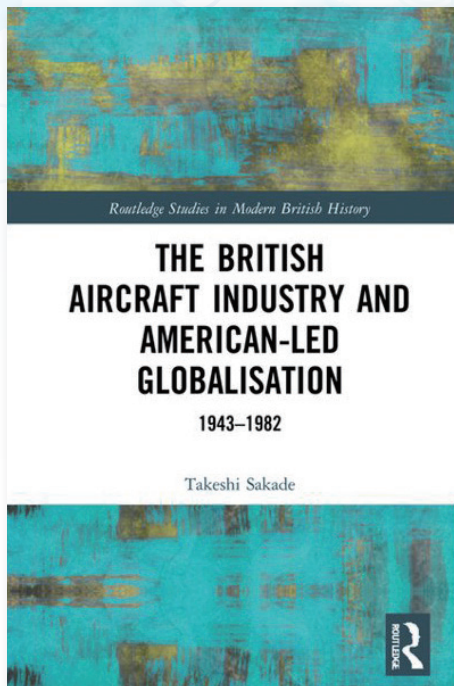
私達の同窓会は懸念していた通り小規模なものとなりましたが、その分参加したひとりひとりの思いは深く、濃密な集いとなり、それはそれで良かったのではないかと思います。

最後に準備段階から当日まで大変なご尽力を頂いた幹事の皆さんにこの紙上を借りてお礼申し上げて報告にさせていただきます。

（文責 小塚修一郎）



出版案内



The British Aircraft Industry and American-led Globalisation, 1943-1982

Takeshi Sakade
(Routledge, 2022)

本書は、第二次世界大戦後のイギリス航空機産業の発展過程を企業、国家、国家間関係を含めて総合的に考察した。戦後イギリスがその経済力を一路衰微させたという通説的見解を再検討し、航空機産業、とくにロールス・ロイス社に示されるような競争力維持の側面があったと主張した。

第1部では、第二次世界大戦後から1950年代までの航空機産業の再編を分析した。大戦後、イギリスはその帝国版図および制空権の縮小に直面した。航空機産業の強化はそうしたイギリスのプレゼンスを維持するうえでの焦点のひとつであった。強化策の中心はジェット技術の開発であり、戦後イギリス航空機産業の独自開発路線は、イギリス国営エアラインにイギリス機購入を義務付ける「フライ・ブリティッシュ」政策であったが、アメリカジェット機との競争に敗れ、この政策は徐々に破綻していった。

第2部は、1960年代の軍用機部門を扱う。ウィルソン労働党政権がTSR-2爆撃機発注をキャンセルしたことによって、イギリスの機体メーカーは最先端の軍用機開発を断念せざるをえなくなった。そのため、イギリスは、主要な提携先を独仏などヨーロッパにおくか、アメリカにおくかの選択に迫られた。そうしたなか、アメリカも1965年にイギリスからの軍需製品の購入を例外的に認めた。これによって、イギリスはアメリカに傾斜した。

第3部は、イギリス民間航空機産業は不安定ながら1960年代から70年代の再編期を経て、80年代に復興を遂げる過程を考察する。1970年代のイギリス政府の政策は、機体、エンジン、エアラインいずれも依然欧米両睨みの戦略が続けた。フランス、ドイツとのあいだでは欧州エアバス・プロジェクトをすすめ、アメリカとは、ロッキード社トライスターにRB211エンジンを供給した。しかし優先されたのはアメリカとの提携であった。イギリスの「二頭の馬」を操る戦略は1970年代後半もつづき、ブリティッシュ・エアロペース社が欧州エアバス開発に復帰する一方、ロールス・ロイス社はボーイング社の新型機種に搭載するエンジン契約を勝ち取った。



京都大学大学院
経済学研究科・経済学部

坂出

健



私の研究



京都大学大学院
経済学研究科・経済学部 講師

岩島 史

私の研究関心は、農業・農村とジェンダーの視点から、日本の「戦後」を再検討することである。日本の「戦後」という時代は、平和、民主主義、経済成長という価値空間で示されてきたが、そのような「戦後」という意味体系は、冷戦体制と植民地、エスニシティの問題、そしてジェンダーの視点をとりこぼしているからこそ可能になったものであった。

これまでの研究では、現在の「女性活躍」ともつながる、戦後農村における女性のエンパワメントの歴史を批判的に検討してきた。戦後の農村女性は、過酷な労働と封建的な制度に抑圧されていた状態から、民主化や高度経済成長を経て、現在では地域づくりや新しい農業の担い手として「活躍」するようになるというストーリーで描かれてきた。しかし農村女性の経験をこのような単線的な発展のストーリーで語ることとは、社会の様々な非対称な構造と制約を不可視化しながら温存してきたのではないだろうか。2018年に提出した博士學位論文をベースに2020年に出版した単著では、このようなストーリーを「エンパワメントの物語」と名付けた。社会開発の「成功例」として国際開発への流用がめざされることもある1950-1960年代農村の生活改善に焦点をあて、政策が農村女性を定義する言説と、政策の実施のされ方、農村女性の手記分析やライフ・ヒストリー分析、

地域社会の農山漁業と経済、生活に関する規範などから、エンパワメントの対象が結果としての「農村女性」なる集団が設定されていく過程を明らかにしてきた。

現在は、農業・農村の「家事」「育児」労働に関する研究に着手している。フェミニスト経済学では1960年代後半から家事労働を「労働」と捉えて経済学的分析の俎上に載せる試みが続けられてきたが、近年、経済史の分野でも「生活」や再生産労働の分野が注目を集めている。私が現在取り組んでいるのは、経営（生産）と生活（消費）が未分離であると言われてきた農家生活における種々の労働や役割から、「家事」「育児」が私領域として分離され、それらが女性の役割として構築されていく過程を明らかにすることである。私的でドメスティックなことと考えられがちな「家事」「育児」や「生活」という分野だが、実際には、例えば家庭用電化製品などを通して、グローバルな冷戦の地政学や市場経済、科学主義や近代家族イデオロギーなども接続するポリティカルな領域でもある。例えば、日本の農村にまず普及した家電は白黒テレビであるが、その次に普及した電気洗濯機は、社会における理想的な女性像や「清潔」という概念の形成に重要な役割を果たしたとされている。また、洗濯機は、米国の技術導入によって開発が開始され、米国の由来の「広告」や「マーケティング」とい

う販売戦略が初めて本格的に使われ、普及したものでもあった。この点からも冷戦下で民主主義や女性解放の象徴であるとした米国の冷戦戦略と無縁ではなかっただろう。他方で、都市の核家族世帯では、家電製品の導入は米国の消費生活と、家電を使いながら生活を1人で切り盛りする「主婦」へのあこがれによって普及したとされているのに対し、農村では、洗濯機のような省力家電の導入が、女性の過重労働を軽減するためだけでなく、それによって「明るい家庭」を作り、息子が農村にとどまり、そこにまた「嫁」がくること、つまり「家」の存続を可能にするものとして期待されていた。地域社会のジェンダー秩序や歴史的文脈とも密接に絡まりあいながら、企業の販売戦略や、政策による生活改善と女性たちのグループ活動を通して、「家事労働」は可視化され概念化されてきたといえる。

今後は、農村における家電製品の販売にも重要な役割を果たしていた農業協同組合婦人部のグローバルな活動の解明や、現在参加している中国農村における生活秩序とジェンダーについての国際共同科研での研究を手がかりに、東アジア農村における「家事労働」「育児労働」の成立過程の国際比較や、その冷戦下での地政学的意味についても研究をすすめる、日本の農村生活を通して冷戦史・帝国史を再検討してみたいと考えている。

教員の紹介

退任

門脇 諒

京都大学大学院経済学研究科・経済学部講師
2023年3月31日 退職

新任

岩島 史

京都大学大学院経済学研究科・経済学部講師
2022年10月1日 着任
【担当科目】
学部：入門演習
特殊講義 女性キャリア論
大学院：ジェンダーと経済

卒業生だより



名前は似ていても
性格の異なる大学で

平成11年卒

阪本 崇

月日が経つのは早いもので、大学を卒業してから30年、大学院を出てからでも25年が経とうとしています。この間、私は一度も京都を離れることなく、京都大学からもそれほど離れていない山科区の京都橘大学（着任時は京都橘女子大学）で、大学教員としての人生を送ってきました。

学部時代からの恩師である池上惇先生が学部長を務められた文化政策学部の開設メンバーとなったのですが、はじめは戸惑うことばかりでした。単に私が先生方の仕事について無知であっただけかもしれませんが、修学指導、就職支援、保護者との連携なども含めて、学生ひとりひとりのサポートを厚く行う京都橘大学での仕事は、「学者」・「研究者」をイメージしていた大学教員の仕事とは随分と異なるものだったからです。ただ、小学校教師だった父・祖父をもつ私にとって、学生の学びをさまざまな角度からサポートするという仕事それ自体は、とくに違和感のあるものではありませんでした。

2016年度に現在の経済学部・経営学部・工学部の前身となった現代ビジネス学部の学部長を、2019年度に副学長を拝命してからは、主な仕事は、当然ながら大学の運営にシフトしています。最初の大きな仕事は、経済学部・経営学部・工学部の3学部同時開設で、カリキュラムの検討や着任して頂く先生方のリクルートなどで多忙な日々を送りました。2021年度からは、学園の将来計画である第3期マスタープランの策定にも関与し、現在はその実現に向けて、「学びで世界を変える」というスローガンのもとに教養教育改革などにも携わっています。

このように、私の現在の仕事は、学生時代や大学院生時代に思い描いていた研究者としての仕事とはかなり違うものですが、その経験のひとつひとつが芸術文化の公的支援や、高等教育の財源調達といった私自身の研究にも行かされつつあるように思います。距離だけでなく名前もかなり近いにもかかわらず、京都大学とは教育研究機関としての性格が大きく異なる大学での活動にはなりますが、これからも、私なりに教育研究に力を注いでいければと考えています。



人生も研究も冒険したい

平成17年卒

中村 良太

平成17年に経済学部を卒業しました。卒業後はイギリスに渡って博士号を取り、現地の複数の大学に勤務して帰国し、現在は一橋大学で教育研究に従事しています。専門分野は医療経済学、医療政策です。

ここ数年は、主にアジアとアフリカの低所得国の医療保障の研究を行っています。日本以外では、セネガル、ブータン、タイが主な研究対象国です。地理的にも経済の発展段階も大きく異なる国々ですが、どの国も目標は同じ。国民全員が過度な費用負担無しで適切な保健医療を享受し、健康を維持できる仕組みを作ることです。研究を通じて、そのお手伝いをしています。

アフリカ大陸最西端にあるセネガルでは国民の大半が無保険です。家族の誰かが病気やケガをすると、経済活動の手段である田畑や家畜を売ったり借金をしたりして医療費を捻出します。そのため、治療によって健康を取り戻せても、医療費の支払いによって家計が破綻してしまいます。その結果、例えば子供に教育を受けさせることができなくなり貧困から抜け出せません。セネガル政府やJICAと協力して、公的保険が普及しない原因を取り除くべく、僻地をまわって現地で暮らす人々の話を聞いた上で、調査やフィールド実験を行っています。毎年一ヶ月弱はセネガルに滞在する生活を送っています。

低所得国の医療保障に取り組むことは、研究者としての差別化や競争力の維持に役立っていますが、それだけでなく、研究活動を楽しむ効果もあります。若手の頃は、他人が集めたデータをもらってきて、それを分析して論文を書くという、ほぼ全ての作業が自室で完結する研究を行っていました。いまは色んな国に出かけていって、難しい交渉事やトラブルも多いのですが、冒険をしながら研究を行うことに人生の価値を見出しています。セネガルでは、気温50度を超える砂漠地帯をエアコン無しで連日走り続け、ブータンでは、辺境の家庭で作られる伝統酒を飲んで集落を周り、同国でもっとも深刻な健康問題であるアルコール中毒の実態解明に体を張って迫っています。

育児も一つのキャリア



平成22年卒
大成 安代

卒業後はNHKに入局し、アナウンサーとして20代を駆け抜けました。地域報道を経て、スポーツやオリンピック報道などに携わりました。結婚を機に外資コンサルへ、そのあとは広告代理店に転職、並行して司会などのアナウンサー業も続けています。一貫性がないキャリアですが、自身の「今この仕事やりたい」を叶えてくれたのは京大での学びです。ゼミでの文献輪読やテーマ別議論は、問題発生時の対応力や完遂力に繋がっています。加えて経験を重ねる中で獲得した幾つもの視点が私のキャリアを支えています。

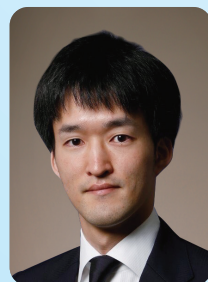
コロナ禍に2度の妊娠出産を経験し、長男は3才、長女は1才になりました。育児に専念する時間は、自身の内面を耕すことができるクリエイティブな時間だと感じます。というのも、病院は付き添い面会禁止、児童館も使えないなどコロナ前の常識が通用せず、新しい最適解を探る日々だったからです。夫も育児休業を取得し、私たちのスタイルで楽しみながら育児をしたいと辿り着いたのが「旅する育児」です。乳児連れの旅は大変という常識を覆し、人混みを避け沖縄や中四国など各地を旅しました。必要な物を事前手配し綿密に情報収集し計画すれば、親も子も楽しめるようになりました。

育休中の今しかできないから、と去年12月から2か月間、家族でオーストラリア4都市を巡る旅に出ました。地元のスーパーや市場で買い出して料理し、無理せず過ごす。観光スポットを訪れる日もあれば、海辺や公園で遊ぶ日もある。暮らすように旅をすることで、子どもの負担をできるだけ少なくしつつ、私や夫は刺激的でワクワクする時間を過ごせました。現地の人々のおおらかさ、子育てのしやすさも感じました。長男が「This one please!」と食べたいアイスを自分で注文できるようになり、急成長ぶりにも驚きました。

冬には復帰予定です。泣き続ける子どもに対応する、目を離さず見守る。育児で得た優しい物の見方や考え方で、常識にとらわれず楽しむ気持ちで、今度は社会に貢献出来たらと思っています。



母校にて培った経験を糧に



平成29年卒
竹中 佑旗

2017年に大学を卒業したのち、外資系証券会社の株式調査部に所属。その後は国内の独立系エンゲージメントファンドを経て、現在は外資系資産運用会社の日本拠点にて主に日本株の調査・分析に携わっています。現職ではアジア各地に同僚があり、多様なバックグラウンドの仲間と日々共に議論し、とても有意義でエキサイティングな時間を過ごしています。

大学4年間の学びは今の私の糧となっています。2年生より草野真樹先生のゼミに所属し、経営戦略やコーポレートファイナンスについて学びました。そのほかにも企業分析・株式投資を学ぶサークルに所属し、面白い企業はないかと四季報をめくる日々でした。3年生の秋からはキングス・カレッジ・ロンドンに1年間交換留学に行き、英語で物怖じせずに議論する術と度胸を身につけました。このように大学で学んだ知識や経験はいずれも日々の業務の中でダイレクトに役立っています。そして何よりも大学時代に学んだのは、仮説を立て物事を批判的に思考するプロセスです。特に株式調査において企業価値を正しく評価するためには、事業や製品の理解はもちろん、ガバナンス、経営者、競合、取引先とありとあらゆる側面から複眼的に企業を理解し、そこから合理的に導かれる企業の将来の姿と将来のキャッシュフローに注目します。まさに知の総合格闘技であり、大学時代に学んだ思考プロセスの応用の連続です。

大学時代に所属したテニスサークルの仲間とは、今でも一緒にテニスをしたり、家族ぐるみで遊んだりすることもあります。社会人生活が始まり、家庭を持ち、子供が生まれると、なかなか自分自身の時間を作ることが難しくなりますが、大学時代の友人に久しぶりに会おうとすぐに学生時代の関係に戻ることができ、唯一無二の時間を過ごすことができます。

在学中に参加したジョンワプロプログラムではオックスフォード大学で一夏を過ごし、妻に出会いました。今の私と、私の家族を築きかけとなった母校に深く感謝しています。



演奏



大合奏

京都大学邦楽サークル 叡風会



集合写真

経済学部 中根 渉

こんにちは、京都大学邦楽サークル叡風会です！私たち叡風会は箏・三絃・尺八を演奏しており、日々演奏会やお稽古に向けて練習に励んでいます。

叡風会は1918（大正8）年設立と100年を超える長い歴史を持った大学公認サークルです。普段は吉田寮近くの学生集会所で好きな時に好きなだけ練習しています（パッと見は吉田寮だと思われてしまいがちなあ建物です）。叡風会では毎週プロの演奏家でもある先生をお招きしてお稽古をつけてもらっています。プロの方のお稽古を受けられるというのは大学のサークルとして非常に恵まれた環境であり、実際に多くの会員が大学から邦楽器を始めたにも関わらず、引退する時には相当の腕前を有するようになります。また、叡風会では年に数回ほど演奏会があり、合奏曲を披露しています。この他にも外部から演奏を依頼されることもあり、演奏機会が非常に多いサークルとなっています。

和楽器の演奏というとお正月や料亭で流れているイメージがあり、普段から聴く機会は少ないかもしれません。一方で、最近はJPOPやボカロの曲をカバーしたり外国人の方にも和楽器を演奏される方が増えてきたりと、少しずつその裾野が広がってきている印象もあります。そうした中で、叡風会では主に江戸・明治時代に作られた伝統的な古

曲から現代の作曲家による新しい現代曲まで幅広い楽曲を扱っています。古い曲は唄が付いていたりメロディも独特だったり最初は取っ付きにくく思われることが多いですが（私もその一人でした……）、会員の多くが演奏を重ねるにつれてその奥深さや日本らしい旋律の面白さの虜になっていきます。また、現代曲は印象的で華やかな楽曲が多く、初めて和楽器を聴く方でも気軽に和楽器の音色を楽しんでいただけるようなメロディになっています。

邦楽は古くから一人また一人と脈々と受け継がれて現在に至っています。そんな長い歴史を持つ邦楽ならではの魅力に惹かれ、同じく長い歴史のある京都、そして叡風会という環境で私たちは和楽器の演奏に取り組んでいます。私たちの演奏活動で一人でも多くの方が邦楽に興味を持っていただけるよう、これからも精進していきたいと思います。

最後に宣伝にはなりますが、今年の12月3日（日）に京都府立文化芸術会館にて第99回定期演奏会を行います。入場料は無料なのでぜひ気軽にお越しください。素晴らしい邦楽が聴けること間違いなしです！



合宿での練習風景



文ゼミ

Mun Seminar



ゼミ後のコンパの様子

伊藤 和樹

文ゼミでは都市経済学や交通経済学に関する研究をしています。ゼミは毎週火曜 5 限に活動しており、毎年度前期には論文や書籍の輪読を行い、後期には 4 名程度のグループに分かれてのグループ研究を行っています。2022 年度前期は空き家問題についての論文や書籍を読み、グループ研究では「家賃に対する鉄道路線のブランド」や、「コンビニにおける共同配送の効果」、「都市空間における公開空地や屋上緑化の役割」といったテーマについて研究・発表・討論を行いました。グループ研究では一般の理論的・統計的手法は無論のこと、GIS を用いるなど幅広い分析手法が見られ、空間的要素と深く結びついた実社会の現象を経済学の観点から解き明かすことに取り組んでいます。グループ研究は様々なテーマを扱っており、文ゼミのサイト (www.econ.kyoto-u.ac.jp/~mun/practices.html) には過年度のものを含めて資料を掲載しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

また、グループ研究の成果は毎年 1 月に行われるインゼミで発表を行っており、23 年 1 月には東京大学佐藤ゼミ、一橋大学藤嶋ゼミ、慶應義塾大学河端ゼミ、大阪大学山本ゼミと 5 大学合同でインゼミを開催しました。インゼミでは他大学のゼミのレベルの高い研究に刺激を受けるとともに、他大学の先生や学生たちからコメントをいただき、議論、交流を通じてグループ研究に対する新たな視点を得てより良い研究につながりました。

ゼミ外の活動は COVID-19 に伴う各種の制限によりなかなか難しいところもありましたが、ゼミ後のコンパなどを通じてゼミ生同士の交流を深めてきました。かつては合宿やソフトボール大会なども行い、ゼミ生同士の交流は活発であったと聞き及んでおります。

近年文ゼミからは毎年のように一定数の学生が大学院の短期修了生に選ばれ、大学院に進学しています。そしてその大学院生が TA としてゼミに携わるという循環の中で、アカデミックな雰囲気醸成されたゼミでした。

最後にはなりますが今まで大変お世話になった文先生にこの誌面を借りて改めて御礼申し上げさせていただきます。本当にありがとうございました。

在学生イベント! 2022

2022年6月30日(木)に、百周年時計台記念館国際交流ホールで「在学生イベント! 2022」を行いました。在学生イベントは経済学部との共催で、経済学部生の誰もが参加できる講演会と学生特別会員限定の交流会とから成り、在学中から同窓会を身近に感じてもらうという趣旨で行ってきました。2021年度はオンライン開催でしたが、2022年度は対面で開催できました。

【講演会】

依田高典経済学部長(同窓会理事長)の挨拶に続き、向山僚さん(学生企画委員)の司会で、講演会を行いました。講師は、2016年卒業、株式会社シナモンAIにお勤めの山村萌さん、演題は「大企業とスタートアップ 仕事を面白くするキャリア選択」です。多くのビジネスが見られる場所はどこかと考えて最初の就職先として三井住友銀行を選んだということですが、ルールの中でマニュアル通りにうまくやることを極める世界で、会社の中で、ま

【講師】



山村 萌氏

た顧客にとって、あるいは広く社会や世界の中で、自分に価値があるかを模索して、結局自分が価値を出している実感できなかったから、転職を考え、スタートアップという世界を知って自分の価値を出せると感じ、何十社も話を聞いた上で、AI関連のプロダクトを開発し、AI開発を支援するシナモンAIを見つけて転職したことを語ってくださいました。そこで、経営と事業開発の橋渡し、開発チームとクライアントとの橋渡しができることが自分の役割だと認識し、クライアントや投資家や同僚と一緒にやっていけないことをできるようにしていく中で、自分が仕事を作るという自負や、事業が成長することが社会を変えることにもつながるという実感が持て、他者にとっての「価値」になると思うことをすること、他者にとつての「価値」を客観的に測ること、価値を意味づけ、実感することとの関係がわかってきたと話してくださいました。仕事を面白くするということは、自分が仕事の中で価値や意義を見出し、実感することだということに熱く語っていただきました。

参加者から、スタートアップならではのこととその苦労、大学時代の留学(ドイツ)の意義、学生の自分、「もし転職しなかったら?」、DXと人間の価値、シナモンを選んだ一番の理由は何か、



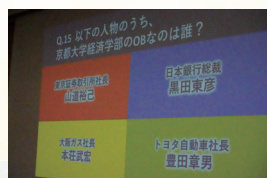
行動を選ぶ際の基準などなど、多くの質問が出され、それに1つ1つ丁寧に答えてくださり、議論が盛り上がりました。

【交流会】

コロナ禍が続いており、飲食を伴う交流会はできませんでしたが、クイズ大会を行いました。学生企画委員の麻

有杏さん、榛葉友紀さん、宍道晴太さん、西野綾斗さん、向山僚さんが、京都大学に関する様々な4択のクイズを考え、参加者がグループを作って回答しました。麻有杏さんの司会で大いに盛り上がりしました。正解の数によって順位を付け、1位〜3位のグループにはバリスタやアイロンやオーブントースターなどの景品を差し上げ、参加者全員に、生協で使えるオンバリュー券と同窓会オリジナルのノートを配りました。学生企画委員のみなさんには、企画、準備、当日の設営や司会進行で大変お世話になりました。2023年度はまた新たな企画で行われると思います。多数のご参加を期待しています。

岡敏弘(前同窓会学内企画委員長)



交流会の様子

令和4年度

同窓会総会報告

2022年度も総会は書面開催、講演会はオンラインでの開催となりました。前年度と同様、会報第25号に総会資料を掲載し、会員から議決権行使書を返送いただく方法で総会を開催しました。令和3年度収支決算、役員の異動、令和4年度予算を討議し、書面審議の結果、すべての議案が承認されました。

講演会は、2022年10月15日（土）午後2時からオンラインで行われました。関口倫紀教授の司会により、梶山泰生名誉教授・梶山女学園理事長が、「オープンイノベーション新時代―ベンチャー側の「知恵」の重要性」と題して講演されました。オープンイノベーションが2010年頃から、それまでの、事業会社が大学・研究機関と一緒に進むものから、事業会社がスタートアップと一緒に進むものへ変わってきたことを指して「新時代」と呼ぶと前置きされ、オープ

ンイノベーションを大企業目線から見た場合の視点として、既存企業からの組織的分離、不確実性への対処、先端知識へのアンテナ、エコシステムというのが挙げられるだろうと述べられた上で、本題である、起業家の目線からオープンイノベーションを見た場合の論点について詳しく論じられました。

第1の論点は、大企業とスタートアップとが交わることで双方に生じる違和感ということで、スタートアップから見たら、大企業の組織的慣行や走りながら考えることができないスピード感のなさや、手段の目的化といった点があるのに対して、大企



梶山名誉教授のご講演

業側から見ると、プロセスの必要性や品質基準の厳格さや内部統制・法務の重要さを理解しないという点があると述べられました。

第2の論点は、起業家の数は多いので大企業がスタートアップを選ぶにしているという面はあるが、選ばれうるスタートアップはむしろ貴重なので、起業家が企業を選ぶという事実を見なければならぬということでした。そして起業家がどうやって大企業を選ぶのかを調べてみると、その選択の基準が、補完性、自尊心、特質類似性にまとめられるという調査結果を示されました。

第3の論点は、起業家から見ると大企業はサメのようなもので、サメに食われる被害を防ぐための防護のメカニズムは何かということでした。被害としては不平等や技術を盗まれることがありますが、それらを防ぐための7つの知恵があるという調査結果を示されました。7つの知恵とは、(1)情報開示方針のルール化、(2)資本関係による逆ガバナンス、資本を入れてもらうことによって利害を一致させる、(3)社会関係によるガバナンス、著名なメンターや弁護士の利用、(4)競争状態のコントロール、複数の相手、相手と競合しない領域を選ぶ、(5)情報の非対称性の解消、(6)アイデアの実行力の差を見せること、

事業化のスピードではスタートアップが勝つということ、(7)組み方の選択、共同開発はしないとかより相互依存の高い相手を選ぶとかです。調査結果からの回答をいくつか例示することによって、これらを具体的に理解できるように話してくださいました。この7つのうちの4つを見出したところに研究の独自性があり、これは「ソフトな回避メカニズム」と名づけることができると示唆されました。

オンラインでしたが、2、3の質問が出され、それに丁寧に回答されました。

書面での総会の後、新役員の追加選出の必要があったので、講演会後の午後3時10分から、オンラインで臨時総会が行われました。相京会長、依田理事長の挨拶に続いて、若井敬氏（昭和58年卒・近畿支部）の新役員追加が承認され、植田和保氏（昭和51年卒・近畿支部）の退任が報告されました。

2023年度は、対面で総会が開催できるよう準備を進めています。

岡敏弘（前同窓会学内企画委員長）

東京支部からの便り

何といっても今年5月に4年ぶりの念願の支部総会を学士会館で盛大に開催できたことが最大の成果だろう。山極壽一前総長、総合地球環境学研究所所長に「人類はどこで間違ったのか」という今まさに考えなければいけないテーマで講演いただき、依田高典経済学研究科長兼経済学部長に経済学部の来し方行く末について明快なお話をいただき、今年1月に就任された柄澤康喜支部長からは今後の同窓会支部活動についての抱負が述べられた。今回の支部総会に

ついでには、キャッシュレスやDX、ダイバーシティを踏まえた世代を超えた交流、SNSの活用など、有志による準備プロジェクトが中心となり同窓会をアップデートすることも企図され重要な一歩を踏み出した。また、諸富徹教授、田中彰教授、草野真樹教授にもご出席いただき卒業生の皆さんと交流をしていただいた。参加者総数は160名に上った。

この一年を振り返ると、いまだオンライン開催ではあったが、昨年7月に第59回経済懇話会として日本総

求められるかという点につき11月の第60回経済懇話会で京都大学大学院経済学研究科牧野成史教授から「国際経営2.0」という示唆に満ちたご講演をいただいた。年が明けて1月には「新春経済交流会」を開催した。第一部では依田高典教授より「京都大学経済学部の現状と課題」をお話しいただき、第二部では京大この会の全面的なご協力を頂戴し「未来を拓くダイバーシティ」女性活躍のあゆみを振り返り、未来を志向する」というパネルディスカッションを行った。モデレータにはSMB Cオペレーションサービス(株)取締役副社長かつこの会の会長も務められていた浅山理恵氏を迎え、中森

真紀子氏(中森公認会計士事務所代表/伊藤忠商事(株)社外取締役)、絹川幸恵氏(みずほビジネスパートナー(株)代表取締役社長)、岩島史氏(京都大学大学院経済学研究科 講師)の論客をパネリストに、東京支部常務理事の荒木も加わって、未来に向けて建設的な議論が展開された。この間、常任理事会2回、理事会を3回いずれもオンラインで開催した。



依田高典教授



山極壽一前総長

(東京支部 荒木)



副理事長 山田久
をお招き
して今日
の大きな
な問題で
ある一わ
が国賃金
低迷の背
景と処方
箋」につ
いて貴重
な勉強を
する機会
を得た。
そして混
迷を極め
る国際情
勢の中で
どのよう
な経営が

京都大学経済学部同窓会東京支部 第32期(2022年度)東京支部収支決算書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
支部活動援助金(会員)	431,070	イベント経費	200,000
預金利息	75	事務費・会議費	309,437
		振込手数料	2,640
≪小計(第32期収入額)≫	431,145	≪小計(第32期支出額)≫	512,077
前年度繰越金	5,139,858	剰余金(次年度繰越金)	5,058,926
合計	5,571,003	合計	5,571,003

(注1) 収入の部は、支部活動援助金(本部)は昨年度に引続き支部総会延期につき無く、各種イベントもオンラインにて無料開催としたため、会員からの支部活動援助金と預金利息のみ。

(注2) 支出の部のイベント経費については、第59回、第60回の経済懇話会及び新春経済交流会の講師料。

(注3) 単年度の総収支は、29期▲1,153,934円、30期60,416円、31期は113,909円であったが、32期は▲80,932円となった。

財産目録(2023年3月31日) (単位:円)

種類	預入先	金額
定期預金	りそな銀行日本橋支店	4,002,344
普通預金	りそな銀行日本橋支店	371,713
普通預金	三菱UFJ銀行日本橋中央支店	684,869
合計		5,058,926

京都大学経済学部同窓会
東京支部長 柄澤康喜殿

第32期支部会計監査報告

京都大学経済学部同窓会東京支部収支決算書(2022年4月1日より2023年3月31日)についての監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

2023年4月7日

京都大学経済学部同窓会東京支部

監事 谷口浩章
監事 河毛正志

近畿支部からの便り

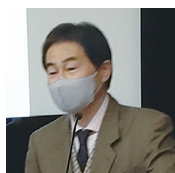
長引くコロナ禍で中止が続いていた近畿支部総会が、会員アンケート結果等を踏まえ開催することとなり、第10回総会を令和4



槌野支部長

年12月9日に大阪ガス本社ビルにおいて、位田高典京都大学大学院経済学研究科長・経済学部部長を始め大学からの来賓や名誉教授の先生方にも参加いただき、3年ぶりに開催する

ことができました。総会では、はじめに槌野吉郎支部長の挨拶があり、来賓紹介



依田理事長

の後、来賓の皆さんを代表して位田先生から祝辞をいただきました。議事に移り、槌野支部長から昨年度の活動報告・会計報告、支部役員の異動と新役員の紹介、総会開催に至るアンケートの実施結果についての報告がありました。この中で今後WEBを活用した総会のハイブリッド開催についての提案もありました。また岡敏弘経済学部同窓会常務理事から同窓会本部の活動状況についてのご紹介があり、総会は滞りなく終了しました。



岡教授

続きまして、京都大学大学院経済学研究科の岡敏弘教授から「成長しなくてもよい経済についての学説」をテーマに御講演をいただきました。失われた10年といわれたように最初から長期停滞といわれていたこと、その原因が必要不足なのか供給側の生産力向上の低迷なのか論争されたが、金融政策も財政価格も日本では拡大したものの効果がなかったこと、供給側の人口要因が必要に影響し需要不足による過少投

資が将来の供給力に影響するというように相互に影響するという認識から構造改革論議が出てきたこと、しかし構造改革で実際に行えることは、等々について内外の経済学者の学説を解説しながらお話をいただきました。混迷の時代において経済学の果たすべき役割が改めて問われているという認識を新たにしました。

この後、懇親会をガスビル食堂で開催しました。コロナ禍で参加者が少なかったため、特別室において全員着席でのコース料理となりました。ガス食堂名物？生セロリのサラダを始め美味しい料理を堪能しながら、来賓の名誉教授も交え、年齢を超えて各々の近況報告等を中心に和気あ



懇親会

いあい語り合うことができました。また令和5年度には、コロナの様子を見ながらも講演会や総会（11月24日）を開催することを確認し、再会を誓うための閉会となりました。

京都大学経済学部同窓会近畿支部 令和4年度（2022年度）近畿支部収支決算書

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
支 部 助 成 金	500,000	総 会 開 催 費	30,000
預 金 利 息	7	HP 維 持 費	14,520
		振 込 手 数 料	660
(小 計(2022年度収入額))	500,007	(小 計(2022年度支出額))	45,180
前 年 度 繰 越 金	680,575	剰 余 金(次年度繰越金)	1,135,402
合 計	1,180,582	合 計	1,180,582

支部助成金：500,000円
総会開催費：30,000円
HP維持費用(株)割入宛て：14,520円
振込手数料：2件 660円

財産目録

種 類	預 入 先	金 額	摘 要
普 通 預 金	三井住友銀行大田本店営業部	1,118,084	
	現 金	17,318	
合 計		1,135,402	

京都大学経済学部同窓会

近畿支部長 槌野 吉郎 殿

令和4年度（2022年度）支部会計監査報告

収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和5年4月4日

京都大学経済学部同窓会近畿支部

会 計 監 事

令和5年4月7日

会 計 監 事

林 信 司

内 田 博 司

名古屋支部からの便り

挨拶の後、伊藤理事より、支部活動報告及び会計報告がなされました。講演会は、岡敏弘教授より、「成長しなくてよい経済についての学説」



のテーマにて、約45分、誠に内容の濃い、示唆に富むご講演をいただきました。ケインズの「人口減少の経済的帰結」、ハロッド動学、MMT（現代貨幣理論）、機能的財政論等の解説をいただき、今後の日本経済、財政の展望について、会員には大いに参考になるお話でした。講演会後の懇親会場で、岡先生を取り囲んで会話が弾んでいたことから、大変興味深いご講演だったと感謝致しております。

全員の記念撮影の後、懇親会が久しぶりの立食形式で開催されました。室賀支部長の挨拶の後、田島副支部長の力強い乾杯の音頭により、にぎやかな会が始まりました。



懇親会

各テーブルは幅広い年代の会員相互の様々な情報交換に花が咲く一方、岡先生には、大学の近況報告をいただき、懐かしい気持ちと共にありがたく拝聴致しました。懇親会の会員スピーチでは、井神忠さんより、「私の二刀流」と題して、趣味の域を超えたジャズピアノ演奏活動のお話が披露され、多くの方が刺激を受けた様子でした。



岡敏弘教授



室賀博幸氏

名古屋支部では、毎回地元の楽団にお願いして、懇親会の間、弦楽四重奏により同窓会の雰囲気づくりに彩を添えていただいております。今回も美しい音色に思わず杯も進んだ方も多く見えたようで、締めめの「琵琶湖周航の歌」と「逍遙の歌 紅萌ゆる」を、バイオリンの音色に導かれながら、肩を組んで合唱していると、思わず学生時代に鴨川べりで歌った光景を思い出し、「やっぱり同窓会はいいいですね」との声があちこちから聞かれました。猛暑もやわらぎ心地良い夜風に吹かれながら、また来年の再会を誓いつつ帰途につきました。

（伊藤雅也）

京都大学経済学部同窓会名古屋支部 令和4年度 名古屋経友会会計報告書

収支決算書 (R4.4.1～R5.3.31)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
名古屋支部総会収入	192,000	支部総会経費	497,661
支部活動援助金	100,000		
預金利息	2		
(小計(4年度収入額))	292,002	(小計(4年度支出額))	497,661
前年度繰越金	413,910	剰余金(次年度繰越金)	208,251
合計	705,912	合計	705,912

(注) 収入の部の支部総会収入は、令和4年7月1日開催分で、会費7,000円×27名+3,000円×1名分。

財産目録 (R5.3.31)

種類	預入先	金額	摘要
普通預金	三菱UFJ銀行名古屋営業部	208,251 円	
合 計		208,251 円	

監査報告

収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和 5 年 4 月 25 日

会計監事

宮田 尚芳 (印)

九州北部支部からの便り

会員数 270名程度

地元企業・自治体等への就職者を
中心に、東京・大阪に本社を置く企
業の九州北部地区勤務者等により構
成。

活動状況（総会・懇親会）

例年5月に年1回の総会・懇親会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、近年は書面開催であり、今回は4年ぶりの対面開催となった。久しぶりの対面開催ということで、準備に多少の不安があったものの、第3水曜日の5月17日に無事開催。21名の同窓生に参加いただいた。（於 ホテルニューオータニ博多）

総会では、藤永憲一前支部長（昭和48年卒。今回総会でご退任）による開会挨拶の後、来賓としてリモート参加いただいた経済学研究科の依田高典研究科長ならびに田中彰副研究科長から、大学・大学院の近況や同窓会の現状などについて、お話をいただいた。

その後、役員改選を行い、葉真寺偉臣新支部長（昭和51年卒）の選任が全会一致で承認された。10年の長きにわたり要職を務めていただいた藤永憲一前支部長には、万雷の拍手が送られるとともに、同窓会事務局の田村利恵さまより花束の贈呈が行われた。

新支部長による乾杯の後、恒例行事である参加者からの近況報告が行われ、全参加者が仕事や私生活での出来事、学生時代の思い出などを報告しあい、懇親を深めた。最後に、鎌田迪貞氏（昭和33年卒）による万

歳三唱と記念撮影を行い、会を終えた。

今回の総会・懇親会は、久しぶりの再会を喜び声に加え、新規参加者や約10年ぶりの参加者もいらっしやったことで、大変な盛会となった。

一方、若手が減り、参加者の平均年齢も回を重ねるごとに右肩上がりとなっている現実はある。来年以降も、今までの繋がりはもとより、新たな繋がりを生み出し、ますます会が盛り上がるよう、本総会以外の懇親会の開催や、同窓会本部・他支部との連携を図るなど、同窓生の掘起こし、および総会・懇親会への新規参加者増に引き続き努めていきたい。

その他

同窓生の皆さまにおかれましては、九州への就職、赴任、転居等の機会がありましたら、是非ご連絡をお願いいたします。

二宮 渉（平成21年卒）

九州北部支部連絡先

九州電力株式会社 秘書室

〒810-8720

福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号

TEL: 092(761)3031

FAX: 092(761)6944

メールアドレス:

Wataru.Nimiyu@kyuden.co.jp

京都大学経済学部同窓会九州北部支部
令和4年度 九州北部支部 会計報告書

収支決算書 (R4.4.1~R5.3.31)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
九州北部支部総会収入 ⁽¹⁾	0	支部総会経費 ⁽¹⁾	0
支部活動援助金 ⁽²⁾	0	通信費	0
預金利息	4	事務費	0
(小計(令和4年度収入額))	4	(小計(令和4年度支出額))	0
前年度繰越金	508,653	剰余金(次年度繰越金)	508,657
合計	508,657	合計	508,657

(注1) 支部総会は新型コロナウイルス感染症による中止のため収入・経費ともに0円。

(注2) 収入の部・支部活動援助金は、支部総会中止に伴い交付なし

財産目録 (R5.3.31)

種類	預入先	金額	摘要
普通預金	福岡銀行 渡辺通支店	508,657	
合計		508,657	

監査報告

収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和5年4月7日

会計監事

下谷 圭祐

京都大学名誉教授 下谷政弘先生を偲ぶ会

「皇寿(111歳)までゼミ同窓会を開催する」と、2022年5月におこなわれたゼミ同窓会で宣言されていた京都大学名誉教授下谷政弘先生が、同年11月14日に78歳の若さでご逝去なさいました。当時は、2055年に皇寿を迎えて、老当益壯の皆さんとの同窓会開催に思いを馳せ、そのとき83歳の私にどのような段取りができるだろうかと考えていました。傘寿や米寿という近いお祝いはいまあ大丈夫だとむしろ軽い気持ちになっていましたが、このように突然の訃報に接し、いまだに信じられない気持ちです。残念ながら、コロナ感染防止のため延期していた喜寿のお祝い同窓会が最後となってしまいました。

さて「下谷政弘先生を偲ぶ会」が2023年1月21日(土)に京都大学法経済学部・法経第3番教室にて開催されましたのでご報告させていただきます。葬儀等はコロナ感染防止のため参列者を絞ったため、改めて下谷先生とご縁のあった学窓関係の皆さんにお

集まりいただき、先生の業績を讃え、先生との思い出を語り、先生を偲ぶ会をおこないました。日本資本主義史研究会関係、学会関係、学部ゼミナール同窓生、大学院ゼミナール同窓生、先生の奥様にもご同席いただき、約100名が集いました。会場には先生の写真や論文、最後の遺稿などが展示され、偉大な業績を改めて実感できる場となりました。

冒頭、長年の友人である塩見治人先生(名古屋市立大学名誉教授)からの挨拶に続き、日本資本主義史研究会関係や学会関係の皆さんから、初めて下谷先生に会ったときのエピソードや先生の研究への情熱や教育に対する姿勢、そして人間性に触れた様々な思い出話が語られ、先生への敬意と感謝の言葉が贈られました。その後、学部ゼミナール同窓生や大学院ゼミナール同窓生からは、毎日のように晩に先生と百万遍写楽や行きつけのお店に飲みに行ったエピソードやいまだから話せる秘密のエピソード、ゼミ合宿の

思い出などが披露されました。偲ぶ会は、参加者全員が亡き下谷政弘先生への尊敬と感謝を表し、共に過ごした時間や影響を受けたことを語り合う、感動的な場となりました。下谷先生の温かさや寛容さそしてそのお人柄の素晴らしさに改めて実感することができたと思います。時間の関係もあり、一部の参加者からのみのお話しになってしまったのは残念です。まだまださまざまなお話しをお聞きしたかったです。今後も下谷先生の研究成果が後世に引き継がれ、経済学の発展に寄与し続けることと思います。心からの感謝と先生のご冥福を改めてお祈りいたします。



クラス会・ゼミ会

報告・お知らせ

山田浩之ゼミ

山田ゼミ同窓会(先生の卒寿祝賀会も合わせ)開催

令和4年9月3日、山田浩之ゼミ同窓会が本年卒寿を迎えられた先生ご夫妻をお迎えして、79名の参加のもと、盛大に開催されました。

今回は、山田ゼミ4期生の元京大経済学部長で、本年3月まで名古屋の椋山女学園理事長森棟公夫氏のご厚意で、同大学の大教室で「ゼミ生のチームワークによる手作り同窓会」の形で、行われ、多くの方からご好評をいただき



ました。

ました。

同窓会に先立ち、椋山女学園の現理事長で前京大経営管理大学院教授の椋山泰生氏に、興味深い講演「制度化されたスタートアップの育成—アクセラレーターの役割とその効果」をいただいた後、山田ゼミ1期生の藤井睦久氏の挨拶、森棟氏の乾杯により懇親会が開始されました。

お祝いの花束贈呈の後、山田先生からは、卒寿になられたとは見えないお元気かつ、いつもながらのユーモラスなスピーチをいただき、会場はあちこちで笑顔と拍手であふれました。

コロナ対策としてテーブル食とした

り、逍遙の歌、琵琶湖周航の歌も音楽のみとするなど、一部制約もありましたが、先生ご持参のゼミ卒業生の会報「京友」最新号や懐かしい写真等で大いに盛り上がり、時間が経つのも忘れるほどの楽しい時間を過ごしました。

最後に、2期生の岡本昂氏の中締めの後、お互いの健康と再会を誓い合っ

て散会となりました。

幹事：和田憲二郎(S42年卒)、谷口浩章(S43年卒)、磯村辰生(S51年卒)、伊藤雅也(S53年卒)、佐藤元宣(H7年卒)



野澤正徳ゼミ

野澤正徳先生米寿御祝いの会(ゼミ同窓会兼)開催

2023(R.5)年3月18日12時から、時計台ラ・トゥールで野澤正徳先生の米寿の御祝いの会を開催しました。ゼミの同窓会を兼ねての会となりました。野澤ゼミナールの学部1期生から10期生と大学院修了者約30名が参加しました。当日は、野澤正徳先生の御挨拶と演奏(ヘンデル、勇士は帰り

ぬ他、曲目は下記の通り)で参加者を歓迎してくれました。その後、参加者の近況報告と抱負、懇談と和やかに時間が過ぎ、終了後、時計台前で記念写真(下記)を撮りました。先生はじめ参加者の笑顔が素敵でした。経済学部同窓会事務局、ラ・トゥール支配人様はじめ、関係の皆様にご大変お世話になり、とても良い会となりました。その後、カフェテリア ルネで歓談し、先生を御

送りしました。次は「卒寿の会」でお会いすることを楽しみに懐かしいキャンパスを後にしました。40年以上、コロナ禍もZoomで「東京野澤会」を毎年開催しています。二次会是有志で南禅寺順正で行いました。

(幹事「東京野澤会」庄司正明(7期、1977年卒、藤江昌嗣(8期、1978年卒)、松尾一佐(10期1980年卒))

バイオリン演奏 曲目

1. ヘンデル、勇士は帰りぬ
(合唱「ユダス・マカベウス」より)
 2. シューマン、二人のてき弾兵
 3. 日本の歌メドレー：荒城の月、椰子の実、ふるさと。
- アンコール、紅萌ゆる丘の花



一一会17.18期合同同窓会

開催のご報告



皆さん、こんにちは。

経済学部1979年卒の長谷川清司と申します。

投稿は初めてですが、同窓会活動は大好きで、3年前迄は東京支部に、関西に居を移してからは近畿支部に所属し、様々な行事に参加させて頂いております。

さて、今回は昨年11月に開催された、標題の件に関する報告です。

まず、一一会とは、故小野一郎先生ゼミのOB会です。

私はその18期で幹事(宴会専門)を務めており、一期上の先輩達と、毎年11月第三金曜日に合同で同窓会を開催しており、既に、何年も続いています。

以前は、時計台のラトゥールや百万遍の居酒屋等で、開催していましたが、最近は「関西以外から参加する人にも便利」と言う事で、京都駅近くで開催しています。

年に一度と言う事で、17期全員、18期は10名中8名が参加すると言う同窓愛の強い会ですが、内容は参加者の近況報告を肴に、飲んで楽しむと言う会です。

そんな初めての投稿ながら、残念な報告もあります。

一昨年は欠席されながら、昨年は出席されていた17期の桑田先輩が、先日ご逝去されたのです。

図らずも、この写真の前列向かって右端がその遺影となりました。

この会報を霊前にお供えしたいと思います。 合掌

来年のゼミ開催予告

木原ゼミ 正正会 第8回総会(予告)

日 時

令和6年7月13日(土)
12時～15時

会 場

京都大学 楽友会館

深田弘明(昭和53年卒)

ゼミ会を発足される方への支援制度

経済学部同窓会では、退官された先生方のゼミ会を発足・復活させようとお考えの方に、ゼミ会立ち上げにかかる通信費用(案内状の送付費用等)を一部支給する支援金制度を導入しました。軌道に乗るまではゼミ会の財政が安定しないため、発起人・幹事の方がやむなくご負担されるケースもあると聞きし、少しでもお役に立てれば幸いと考えております。

予算の都合上、以下のような要領で運営いたしますので何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

用 途 ゼミ会発足にかかるゼミ生への通信費等

金 額 ゼミ会1回につき実費あるいは3万円のいずれか少ない額、最大3回まで支給。

お約束 ゼミ会開催の様子を「同窓会報」に必ずご寄稿ください。

同窓会員の皆さま、日頃は同窓会活動につきまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ようやく支部総会を含む様々な同窓会イベントがコロナ禍前に近い状態で開催できるようになってまいりました。これからの同窓会活動の方向性もしっかりと考えながら、今後も全力を尽くしてまいりますので、お力添えいただければ幸いです。

※今年から会報編集・作成がすべて外注となりました。初めての試みですのでご迷惑をおかけしました執筆者の方々には、深くお詫び申し上げます。

【よくあるお問い合わせ Q&A】

Q：支部総会などのイベント開催案内は、これまでの郵送からメール案内へと改定されていますが、迷惑メールフォルダに入っていると見ることができません。他に知る方法がありますか？

A：各種情報は、ホームページでも随時お伝えしています。イベント情報以外の重要な情報も掲載していますので、リニューアル版のホームページをぜひご活用ください。各支部や本部事務局からの案内につきましては、今後もメールでのご案内となりますので、メールアドレスのご登録に加え、住所等に変更が生じた場合はすみやかにお申し出ください。

Q：[no-reply@kyoto-u.ac.jp] からメールが来ました。経済学部同窓会からのメールで間違いないですか？なぜメールアドレスが違うのですか？

A：このメールアドレスは皆様にメールを一齐送信する場合に使用するメールアドレスです。全学同窓会の【KUON】というシステムを用いています。主に支部総会の案内や緊急のお知らせをする際に使用します。なお、こちらから送るメールには必ず同窓会の連絡先や所在地なども記載しておりますので、連絡先のない怪しいメールやハガキが届きましたらすぐに事務局までお問い合わせください。

Q：以前、「京都大学同窓会」へ住所などの変更を伝えたのですが、「京都大学経済学部同窓会」の情報が変更されていないのはなぜですか？連携していないのですか？

A：「京都大学同窓会」は大学全体の同窓会で全学部を対象としています。「京都大学経済学部同窓会」とは組織が全く異なります。もちろん事務員も異なりますので、登録情報に変更がございましたら大変お手数ですが「経済学部同窓会」へも必ずお知らせください。

Q：同窓会事務局の名前とメールアドレスが載っているメールが届きましたが、このようなメールが届くのは個人情報流出しているのですか？

A：まずは P27 をご覧ください。これらのメールは昨年より流行しています。通常同窓会事務局からのメールには必ず「〇〇様」と卒業生のお名前を記載し、内容をきちんと書かせていただいております。不躰に「添付ファイルを開いてください」といったメールをお送りすることは一切ございません。怪しげなメールが届きましたら、添付ファイルを絶対に開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、ホームページの【参考情報サイト】をご確認ください。

また名簿管理システムは、限られた者しかアクセスできず、外部からのアクセスは一切できない仕組みとなっております。したがって個人情報が流出しているということではございません。

Q：同窓会の年会費が支払えないので退会できますか？

A：年会費は「強制」ではございません。あくまでも「ご協力」という形で納めていただいております。卒業と同時に「経済学部同窓会の会員」となる旨、規約で定められていますので「退会」という規定はありませんが、同窓会からの郵便物を届かないようにすることは可能です。不要であれば事務局までご相談ください。

Q：昔の新聞ではなく、フルカラーの会報は、かなりお金がかかっているのではないですか？

A：現在の会報はおよそ 1 冊 120 円弱です。同時に広告主様より広告料（協力金）をいただいております。広告料で会報発行費のかなりの部分を賄えますので、とても助かっております。



同窓会事務局
滝川・田村

京都大学経済学部同窓会事務局

重要なお知らせ

今年度より業務日に変更になり毎週水曜日はお休みとさせていただきます。

ご連絡、お問い合わせは、水曜日を除く平日の10:00～16:00(12:00～13:00を除く)に、お願いいたします。

メール・FAXは、業務日にお返事いたします。ご迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

是非、
ご利用ください！

コモンルームのご案内

ご利用いただける時間

平日(月・火・木・金)10時~16時
(12時~13時を除く)

法経済学部東館 3階

TEL&FAX: 075-753-3419

TEL②: 075-753-3508

E-mail: dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp



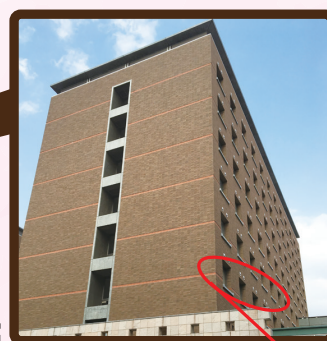
会議スペース (要予約)



コモンルーム全景 (予約不要)



法経済学部東館



ここです



吉田キャンパスへのアクセス

主要鉄道駅	乗車バス停	市バス	市バス経路等	下車バス停
京都駅 (JR／近鉄)	京都駅前	206	「東山通 北大路バスターミナル」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		17	「河原町通 銀閣寺・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」、薬は「荒神口」
河原町駅 (阪急)	四条河原町①	201	「祇園 百万遍」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		31	「東山通 高野・岩倉」行	
	四条河原町②	3	「百万遍 北白川仕伏町」行	「百万遍」、薬は「荒神口」
		17	「河原町通 銀閣寺道・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」、薬は「荒神口」
今出川駅 (地下鉄烏丸線)	烏丸今出川	201	「百万遍 祇園」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		203	「今出川通 銀閣寺道・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」
東山駅 (地下鉄東西線)	東山三条	206	「高野 北大路バスターミナル」行	「京大正門前」又は「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		201	「百万遍・千本今出川」行	
		31	「東山通 高野・岩倉」行	
出町柳駅 (京阪)	文・教・法・経済・工は、当駅下車東へ徒歩10分、総合人間・理・農は徒歩15分			
神宮丸太町駅 (京阪)	医(医学科)・薬は、当駅下車北東へ徒歩10分、医(人間健康科学科)は、当駅下車東へ徒歩5分			

ホームページリニューアルのお知らせ



京都大学経済学部同窓会
Kyoto University Faculty of Economics Alumni Association

075-753-3419
【受付時間 平日 10:00～16:00】

お問い合わせ

[ホーム](#)
[ご挨拶](#)
[イベント](#)
[会報](#)
[支部一覧](#)
[年間予定](#)
[アクセス](#)



京都大学経済学部同窓会は、
大正8(1919)年に発足し、
現在までの会員数は24,000人を超えています。

同窓会からのお知らせ
Information



年会費払込方法
年会費の郵便払込用紙(※)を毎年(7月初旬～8月下旬頃)会報と一緒に送付しております。納入にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

[詳しくはこちら](#)



個人情報変更の届出
住所・勤務先など、会員ご自身のデータが変更になりましたら事務局までご連絡ください。

[詳しくはこちら](#)



住所不明者の情報
同期やお知り合いの方で、連絡先やご住所をご存じの場合は、お手数ですが同窓会事務局までご連絡ください。

[詳しくはこちら](#)



VISAカード入会のご案内
京都大学経済学部同窓会では、国際的に広く通用している三井住友カード株式会社と提携しVISAカードを発行しております。

[詳しくはこちら](#)

↑ 図 1

↑ 図 2

FAX : 075-753-3419
E-mail : dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp
※便面をお開通しないようご注意ください

京都大学経済学部同窓会 個人情報変更届

同窓会事務局様へ
住所・勤務先などの変更を希望される方は、ご記入の上FAXまたはE-mailでお知らせください。
※ご本人確認のためご記入をお願いいたします

ご記入欄のお願い
※変更届をお送りいただいた後にも関わらず、本学が出席せず修正がなされないケースが発生いたします。出席できない場合は、届書までにご記入ください。出席する場合は、お送りいただいた届書に修正を記入し、お送りください。
※メールアドレスはご記入いただいた際、必ずしもメールアドレスが変更になるわけではありません。最新のメールアドレスは、お送りいただいた届書に記入してください。最新のメールアドレスは、お送りいただいた届書に記入してください。

変更届所がございましたらご記入ください

●氏名
姓
名

●旧住所
〒
市
区
町
番
地

●勤務先
氏名・部署
〒
市
区
町
番
地

●勤務先名称 (旧所属名称・支店の役員は必須) 役職

●勤務先住所 (旧所属名称・支店の役員は必須) 電話

●E-mail アドレス

※お送りいただきました個人情報には厳重に管理し、同窓会活動の目的以外には使用いたしません。

〒606-8501 京都市左区有田本町 京都大学経済学部内 京都大学経済学部同窓会事務局
TEL / FAX 075-753-3419 E-mail dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

図 1

FAX : 075-753-3419
E-mail : dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp
※便面をお開通しないようご注意ください

京都大学経済学部同窓会 住所不明者連絡票

同窓会事務局様へ
住所不明者の情報をご希望の方は、ご記入の上FAXまたはE-mailでお知らせください。
※ご本人確認のためご記入をお願いいたします

ご記入欄のお願い
※変更届をお送りいただいた後にも関わらず、本学が出席せず修正がなされないケースが発生いたします。出席できない場合は、届書までにご記入ください。出席する場合は、お送りいただいた届書に修正を記入し、お送りください。
※メールアドレスはご記入いただいた際、必ずしもメールアドレスが変更になるわけではありません。最新のメールアドレスは、お送りいただいた届書に記入してください。最新のメールアドレスは、お送りいただいた届書に記入してください。

わかる範囲でご記入ください

●住所不明者の氏名
姓
名

●旧住所
〒
市
区
町
番
地

●勤務先
氏名・部署
〒
市
区
町
番
地

●勤務先名称 (旧所属名称・支店の役員は必須) 役職

●勤務先住所 (旧所属名称・支店の役員は必須) 電話

●E-mail アドレス

※お送りいただきました個人情報には厳重に管理し、同窓会活動の目的以外には使用いたしません。

〒606-8501 京都市左区有田本町 京都大学経済学部内 京都大学経済学部同窓会事務局
TEL / FAX 075-753-3419 E-mail dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

図 2

経済学部同窓会ではホームページにより本部及び各支部の活動をご案内・ご報告しております。

各種イベントの詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

今年度も会報に住所不明の方の氏名を掲載しておりますが、ホームページ内にも掲載しております。

①青枠のバナーをクリックすると、住所不明者一覧のリンクがありますので、下のパスワードをご入力の上、Excel ファイルの中身をご確認ください。

②図 2 の「住所不明者連絡票」にご記入の上、メール添付、FAX、郵送にて同窓会事務局までお知らせください。住所判明者が複数人いらっしゃる場合は事務局までご相談ください。

③住所・勤務先など、ご自身の情報が変更になられた場合は赤枠をクリックして図 1 の「個人情報変更届」にご記入の上、正確を期すために、メール添付、FAX、郵送にて同窓会事務局までお知らせください。

住所不明者一覧パスワード・・・

なお、会報を処分される際は、このページをシュレッダー等で破棄してください。

京都大学経済学部同窓会 VISA カード入会のご案内

京都大学経済学部同窓会は、三井住友カード株式会社と提携し、京都大学経済学部卒業生のみが加入できる「VISAカード」を発行しております。デザインは経済学部70周年記念に使用した写真(飯野春樹氏撮影)を図案化したもので、同窓会は、このカードの発行により、カード利用額の一部を提携手数料として受け取ることができ、財政基盤確立の一助となっています。

会員の皆様におかれましては同窓会の年会費をこのカードにより自動振替^(※1)とすることができ、大変便利かと存じます。カードの年会費が無料になる場合もございます。詳しくは0120-816-437までお問い合わせください。

どうか本カードの趣旨をご理解のうえ、お申込み頂ければ幸いです。

(※1) 自動振替を希望された方のみ

京都大学経済学部同窓会 理事長 依田高典

ご入会方法

VISAカードの申込方法がオンラインのみとなりました。ご入会は以下のいずれか一つを選択し、お申し込みください。



1 QRコードからのお申し込み

こちらからアクセスしていただきお申し込みください→

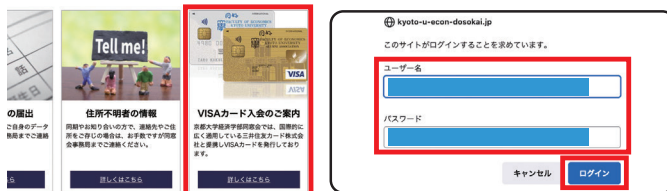
2 URL からのお申し込み

<https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/dokoclub/index.jsp>

こちらの URL からアクセスしていただきお申し込みください。

3 ホームページのバナーからのお申し込み

ホームページのVISAカード入会のバナーをクリック。
ログイン画面が出てくるので、ユーザー名とパスワードを入力してクリック。



入会特典

対象者

…本人以外でも適用になる場合

総合博物館(京都大学)

- ・観覧料無料

白浜水族館(京都大学)

- ・入館料無料

山ばな 平八茶屋

対象者 5名まで適用

- ・7,000円の昼懷石以上の懷石料理注文者に食前酒1杯無料サービス

ワタベウェディング(株)

対象者 カード会員本人と家族(2親等以内)

- ・国内、海外挙式パッケージより5%割引(旅行会社などの取引先販売店による挙式申込は対象外)
- ・貸衣裳(単品)20%割引(衣裳込みパッケージ、衣裳予約システムおよび現地レンタル衣裳は対象外)
- ・京都和婚のみ特別特典あり(詳しくは京都本店ご来店時にお問い合わせください)
- ・販売衣裳(単品)10%割引(衣裳込みパッケージは対象外)

リーガロイヤルホテル京都

- ・レギュラーフロアラグジュアリー Suitesの客室利用料金を優待料金にて提供
- ・直営レストラン5店舗での利用料金5%割引
- ・レストラン利用時に、誕生日の者に食前酒1杯(上限4名まで)と記念写真を無料提供

加越(造り酒屋)

- ・同窓会報第26号の広告ページに記載の料金よりさらに値引き
- ・「月のかがやき酒セット」京大特価6,000円(税込、送料・代引手数料無料)をさらに100円お値引きにて提供
・酒峰加越 朱ノ吟 大吟醸酒 720ml ・加賀ノ月 満月 純米吟醸 720ml
※「月のかがやき酒セット」はメール注文のみのお得な特別セット
(メール注文の際に、京都大学経済学部同窓会VISAカード会員である旨をご記載ください)

同窓会年会費 納入のお礼とお願い

御 礼

昨年度(令和4年3月～令和5年3月)の年会費を納入していただきました皆さま方には、いつも同窓会の運営につきまして、ご理解ご協力賜わり、心より御礼申し上げます。

お願い

令和5年度(令和5年4月～令和6年3月)の同窓会年会費5,000円を同封の払込用紙をご覧の上、何卒ご協力賜われますよう、お願い申し上げます。

同窓会へのご寄付について

御 礼

- ◆令和5年3月18日に行われました野澤正徳先生の米寿の御祝いの会にご参加の京都大学名誉教授野澤正徳先生ゼミナールOBの方々より、60,000円をご寄付いただきました(21ページに記事記載)
- ◆令和5年5月26日、昭和34年卒業生同窓会「山紫会(西日本)」様より80,000円をご寄付いただきました。

皆さまからの寄付金は「同窓会活動の資金」として大切に使用させていただきます。この場をお借りし、ご寄付いただきました卒業生の皆さまへ厚く御礼申し上げます。

お願い

ゼミ会・クラス会等で余ってしまったお金を経済学部同窓会へご寄付いただきますと大変有難く存じます。もちろん、使用目的・用途を明確にし、ご寄付いただきました方々のゼミ名・卒年・クラス名等を記載して、皆さまに会報やホームページ等でお伝えしたいと考えております。

皆さまのご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

※会報への掲載の可否については必ずお伺いしておりますのでご安心ください。

ご注意ください！

数年前に、ある出版業者から卒業生の元へ、『職業別同窓名鑑(文学部・経済学部)発刊のお知らせ』と題する往復ハガキが届いたという事例がありました。これは、最新の個人情報の提供と同窓名鑑の購入を呼びかけるものですが、この出版業者と京都大学経済学部および経済学部同窓会は一切関係がございません。今後も業者名を変えて、同様の手段で個人情報の提供や名簿購入の依頼等が届く可能性があります、返事や振り込み等をなさらないように十分ご注意願います。

経済学部同窓会からの正式な郵便物には、京大のエンブレムを印刷しております。



京大エンブレム

エンブレムがない等の不審な郵便物が届いた場合は、至急経済学部同窓会事務局までお問い合わせください。

[illegible]

「名簿リスト」の提供サービス

平成29年度の同窓会理事会・総会において、個人情報保護の観点から「卒業生名簿」の発行を当面見合わせる旨の決定がなされ、平成30年発行の同窓会報21号で皆様にご報告いたしました。経緯および決定に至った詳細につきましては会報21号の27ページをご参照ください。

その折にもお知らせしましたが、「卒業生名簿」配布に代わるサービスとして、同窓会事務局で管理している「名簿リスト」(ゼミ単位、卒業年単位)を送付いたします。ただし、このサービスは年会費を納入いただいている方のみとさせていただきます。

ご利用目的をご連絡いただき、ご本人確認ができましたら、郵送にて送付いたします。

同窓会事務局では皆様のご協力のもと、常に名簿データをアップデートしておりますので、5年ごとに発行しております「卒業生名簿」と比べ、より新しく正確なリストを提供することができます。

つきましては、このサービスによる「名簿リスト」に住所・電話番号等の個人情報の掲載を希望されない方は、同封の総会出欠用紙の下にある「非公開」に○を付けて、ご返送いただきますようお願いいたします。

●名簿リスト送付についての注意事項●

- ①基本的には「ゼミ会」「クラス会」をされる幹事の方(利用目的が明確)に対して「名簿リスト」をご提供いたします。
- ②特別な事情がない限りお一人につき年1回の送付とさせていただきます。
- ③「名簿リスト」が必要な方は利用目的を明確にしてください。利用目的・ご本人確認ができ次第、郵送いたします。
※ただし同窓会の年会費納入者のみとさせていただきます。セキュリティの都合上、メールでの送付は承っておりません。
- ④非公開に○を付けられても名簿管理データから住所等が消えることはありません。会報や支部総会の案内は届きますのでご安心ください。ご意向が変わられた場合は元に戻すことも可能です。
- ⑤非公開に○をつけられていない場合や、「連絡先等変更届」の返信がない方は「名簿リスト」に掲載いたしますので何卒ご了承ください。

ご寄付・名簿リスト・会報記事についての
お問い合わせは同窓会事務局へご連絡ください。

TEL①/FAX : 075-753-3419
TEL② : 075-753-3508
Email dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp
月・火・木・金 10:00~16:00 (水・土日祝/休)

コンピュータウイルス 「Emotet」に関する注意喚起

日本中でマルウェアEmotet(エモテット)感染拡大が確認されており、本学宛にもパスワード付きZIPファイルが添付された不審メールが多数届いています。

メールに添付される添付ファイルはマルウェアです**絶対に開封しないでください**

未然に防ぐために

- ・差出人メールアドレスが、普段やり取りしているメールアドレスであることを確認する(なりすましの可能性)。
- ・添付ファイルは、原則として開かない(zipファイルによる攻撃が非常に多い)。
- ・差出人が見知ったメールアドレスであっても、メールの件名や本文に少しでも不審な点を感じたら、添付ファイルは絶対に開かない(差出人が感染している可能性)。
- ・攻撃手法は日々進化するため、Windows Defenderを含む従来のウイルス対策ソフトでは、Emotetの感染を防止できない可能性が高いため、安心しすぎない。

添付ファイルを クリックしてしまったら

Emotetの可能性のあるファイルをクリックしてしまった時、すぐに対応することが重要ですので、速やかに以下を実施してください。

- ・ネットワークから切り離す。有線LANで接続している場合はLANケーブルを抜く。無線LANで接続している場合は無線LANを無効にする。

以下の作業は、ネットワークに接続せずに実施してください。

- ・ウイルス対策ソフトで完全スキャンを実施する。(詳しくは経済学部同窓会ホームページに記載の参考情報サイトをご確認の上その指示に従ってください)

★参考情報サイトを「京都大学経済学部同窓会ホームページ」に掲載しております。
そちらのURLよりご確認ください。

転居等による住所不明にならないために

転送期間は1年間です。転送期間終了後はすべての郵便物が差出人へ返還されます。

パターン1・2をお願いします

パターン

1 新住所を同封の連絡先等変更届・メール・お電話にてお知らせください。

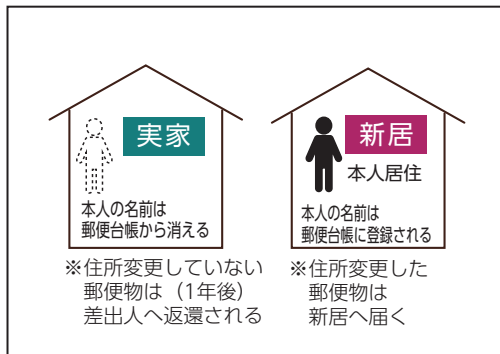
パターン

2 実家に居住中の方（親族等）のフルネームをメール・お電話にてお知らせください。連名で差し出すと実家へ届きます。

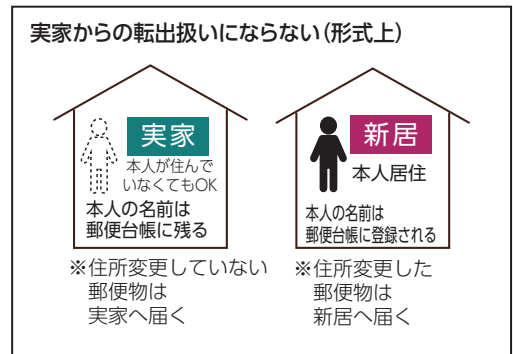
パターン1・2が困難な場合

パターン

3 これから郵便局へ転居届を出される方 [市区町村の転居届ではありません]
転居届の旧住所欄に「実家住所」を記入しないでください。

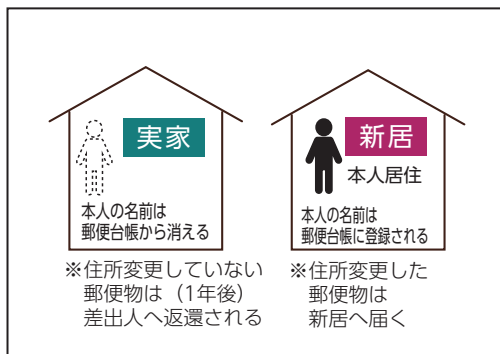


パターン3
を実行

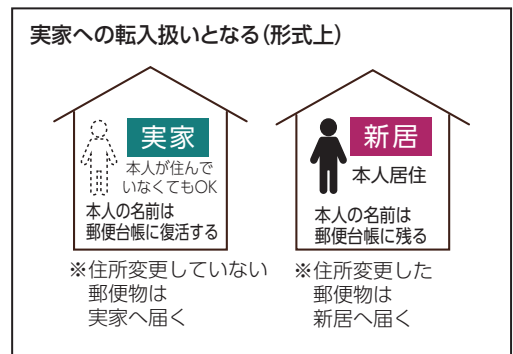


パターン

4 すでに郵便局へ転居届を出された方 [市区町村の転居届ではありません]
もう一度郵便局へ転居届を出してください。その際、新住所欄に「実家住所」を記入してください。
※旧住所欄には何も記入しないでください



パターン4
を実行



ご存知ですか？
実家に届いた郵便物を
無料で転送できます



ご注意

卒業後、下宿先から転居された方は、旧住所欄に下宿先を書き、新住所を必ず同窓会事務局までメール・お電話にてお知らせください。

上記はいずれも日本郵便(株)に確認済みです。

探しています!! 住所不明者リスト

事務局まで是非、お知らせください

ここにお名前のある方は、現在ご住所等が不明になっている方です。
同期やお知り合いの方で、連絡先やご住所をご存知の場合は、同窓会事務局までご連絡ください。

ご本人様の方承を得た上でご連絡いただくか、ご本人様から直接同窓会事務局までご連絡くださるようお願いください。

※前回、会報第 25 号に住所不明者を掲載した際に、ご協力いただきました皆さまのお陰でたくさんの方の連絡先が判明いたしました。誠にありがとうございました。

お知らせいただく際は以下のいずれかの方法でお知らせください。

Eメールでのご連絡

dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

卒業年、氏名(フルネーム)、ご存知の情報を明記のうえ、上記アドレスへ送信してください。

FAXでのご連絡

FAX番号 **075-753-3419** (終日受付)

卒業年、氏名(フルネーム)、ご存知の情報を、正確を期すためにできるだけ読みやすい大きな文字で丁寧にお書きください。

やむを得ず、お電話をいただく場合は、1～2名の不明者のご連絡に限り承りますので情報をお手元にご用意のうえ、お電話ください。

何卒、皆さまのご協力をお願いいたします。

目 次

令和5年度 総会開催通知	表2
メールアドレス登録のご案内	1
経済学部の特ピック	2
本山先生 近況報告	3
卒業生エッセイ	4
卒業50周年記念同窓会	5
出版案内	8
私の研究	9
教員の紹介	9
卒業生だより	10
サークル紹介(観風会)	12
ゼミ紹介(文ゼミ)	13
在学生イベント2022	14
同窓会総会報告	15
各支部からの便り	16
下谷政弘先生を偲ぶ会	20
クラス会・ゼミ会	21
収支決算書	23
事務局通信	24
コモンルームのご案内	25
ホームページ紹介	26
VISAカード入会のご案内	27
事務局からのお知らせ	28
住所不明にならないために	30
住所不明者リスト	31
広告主様リスト	42
広告	43
東田さんのパズル	表3

京都大学経済学部同窓会報 No.26

2023年8月1日発行

発 行 京都大学経済学部同窓会事務局
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL・FAX (075) 753-3419

編集・印刷 株式会社レジリエンス
〒520-3015 栗東市安養寺1-2-7-102
TEL (077) 553-0888
FAX (077) 553-6688

CHALLENGE

Dr.HIGASHIDA's PUZZLE

—— 東田さんのパズルに挑戦 ——

パズルが解けた方は、「連絡先等変更届」に答えをご記入下さい。

正解者の中から抽選で10名様に総会でお配りしている

同窓会オリジナルグッズ(4点セット)をプレゼント!

つながりま数

すべてのマスの中に1～8の数字のどれかを入れます。
1は1個、2は2個、3は3個、4は4個、5は5個、6は6個、7は7個、
8は8個入ります。
同じ数字は、すべて縦横にとなり合うように入ります。

例題

		2			
5	5				
			3		7
5		3			
				4	8
			1		

例題の答え

5	2	2	7	7	7
5	5	7	7	8	7
5	6	3	3	8	7
5	6	3	8	8	8
6	6	4	4	4	8
6	6	4	1	8	8

問題

黄色いマスに入る数字の合計は?

	1		3		
			3		4
2	5				
				4	4
5		7			
		7		7	

前号の
パズルの答え

32

前号の当選者

50音順

秋本 陸男様 池田 裕夫様 音代 明徳様 菊川 忠雄様 草場 英夫様 谷口 浩章様 坪井 清様
寺尾 駿様 中野 佳信様 野澤 正徳様 馬場 茂様 林 敏雄様 廣崎 睿様 政狩 明好様
松波 拓見様 水野 幸雄様 宮武 義幸様 森村 武様 矢野 正躬様 横田 智彰様

株式会社東田式パズル研究社

代表取締役社長

東田 大志



1984 年生まれ。京都大学法学部に入学後、総合人間学部にて卒業。

京都大学大学院人間・環境学専攻にて、日本で唯一のパズル学での博士号を取得。

2019 年に起業し、京都市上京区で「京大東田式パズル教室」を運営。

全国 47 都道府県を自作パズルのピラ配りで周り、「ピラがパズルの人」とも呼ばれる。

フジテレビの『今夜はナゾトレ』など、テレビ・ラジオでもパズルを出題している。

著書に『京大博士のパズルに挑戦』（京都新聞出版センター）、『京大東田式天才パズル』（青春出版社）など。

株式会社東田式パズル研究社代表取締役社長として、京大東田式パズル教室を運営。

『京都新聞ジュニアタイムズ』『朝小かぞくの新聞』『ニュースがわかる』などでパズルの連載を行っています。



京都大学経済学部同窓会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学経済学部内

TEL①/FAX:075-753-3419 TEL②:075-753-3508
(月・火・木・金 10:00~16:00 水・土日祝 休)

E-mail: dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

URL <https://kyoto-u-econ-dosokai.jp/>